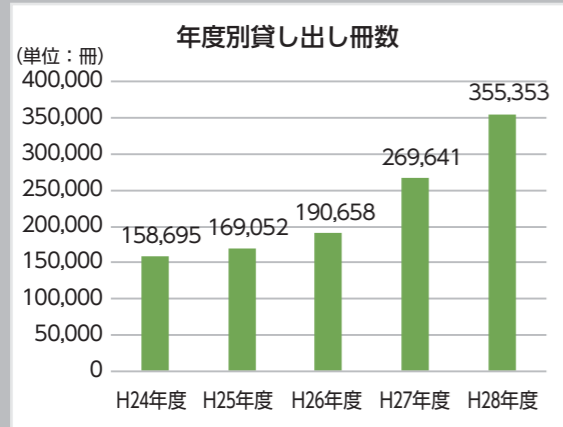


▲年度別入館者数の推移



▲年度別貸し出し冊数の推移



自動貸出機

1 にぎわう図書館 1年間20万人が利用

新しくなった図書館

西脇市野村町茜が丘にオープンした西脇市図書館は、開館からまもなく丸2年が経過しようとしています。現図書館は旧図書館と比べて、閲覧スペースや図書の収容冊数とともに約1.5倍に拡大され、広いスペースでゆっくりと読書を楽しむことができる空間となっております。

書がIC対応となり、貸出・返却手続きがスムーズに。また、自動貸出機を設置して、自分で簡単に貸出手続きが行えるようになっていきます。この「拠点」として、ますます便利に利用できるようになりました。

日以降の平日、年末年始および特別整理期間 **増える利用者** 現図書館の来館者数は、開館以降、順調に増えています（左図）。

た旧図書館と比較して、約4倍を超える方に利用していただいていることとなります。また、旧図書館の年間貸出冊数は約19万冊（平成26年度）でしたが、平成28年度には35万5千冊を超え、約1.9倍に増えています。

誌を10冊へ増冊しました。DVD5点と合わせると、最大で35点まで借りていただくことができます。

新しい図書が見つかる

平成29年3月末現在で、およそ17万5千冊の蔵書がある西脇市図書館では、毎年1万冊を超える新書を購入しています。読みたい本が図書館に置いていないときは、リクエストすることがあります。

西脇市図書館

- ・開館時間 午前9時30分～午後7時
- ・休館日 毎月最終水曜日（ただし、祝日の場合は翌

図書館へ行こう！

平成27年10月に西脇市茜が丘複合施設「みらいえ」にオープンした西脇市図書館。多くの市民の方に利用いただいています。「絵本の読み聞かせ会」など、本を借りるだけでなく魅力がいっぱい詰まった図書館。これからの夏休みシーズンに図書館をご利用ください！

■問合せ 図書館（☎23・5991）



2 もっと身近な図書館を目指して

県内初の「読書通帳機」

読書通帳機は図書館で借りた本を通帳に記録するもので、西脇市図書館では開館に合わせて兵庫県内で初めて導入しました。この機械に専用の通帳を差し込むと、借りた本の名前や貸出日、著者、値段が通帳に印字され、これまでに読んだ本の記録を残すことができます。図書の利用券をお持ちの方は無料で発行できます。



図書館にある読書通帳機

ブックスタート事業

「ブックスタート事業」とは、赤ちゃんのいる家庭に絵本を贈り、絵本を介して赤ちゃんに保護者の方に楽しい時間を過ごしていただくこととするものです。市では、赤ちゃんの出生時と10か月児乳児相談時に本をプレゼントしています。また、10か月児乳児相談時には、待合の時間を活用して、赤ちゃんに保護者に絵本を開く時間の楽しさを体験していただいています。



利用者にとって役立つ図書館に

館内にさまざまなコーナーを設けて、利用しやすいように工夫しています。分からないことがあれば、私たちに聞いてください。新しい図書がたくさんある魅力的な図書館にぜひお越しください。
楠本昌信図書館長

- ◆赤ちゃんの出生時
・対象 平成29年1月1日以降に出生した赤ちゃん
- ・配布場所 健康づくりセンター1階 専用コーナー
- ◆10か月児乳児相談時
・対象 10か月児乳児相談に参加した乳幼児
- ・配布場所 健康づくりセンター2階 10か月児乳児相談会場

学校園へ図書を配達

子どもたちが図書に接する機会を増やすことを目的に、図書館では今年6月から宅配

業者に委託して、貸し出し図書の申し込みや返却の依頼があった市内の学校園へ図書の配達を始めました。子どもたちが学校園で図書を読みやすい環境を整えています。

図書館外での貸し出し

時間がない方や移動が困難な方が図書館へ行かなくても市内の隣保館など下表の6施設で図書の受け渡しや返却ができるサービスを行っています。このほか、市役所1階ロビーに返却箱を設置していますので、ご利用ください。

本の受け渡しや返却が可能な公共施設

地区	公共施設・連絡先
西脇地区	郷土資料館 (☎23-5992)
津万地区	大野隣保館 (☎23-2291)
日野地区	サンパル日野 (☎23-7393)
比延地区	こみせん比也野 (☎24-0120)
芳田地区	芳田の里ふれあい館 (☎27-0658)
黒田庄地区	黒田庄隣保館 (☎28-2344)

「夏休み特別企画」のお知らせ

- 夏休み期間中に「夏休み特別企画」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。
- ①映画会「おじや丸スベシヤル銀河がマロを呼んでいる」
日時 8月6日(日)
午前11時
会場 茜が丘複合施設みらいえ 多目的ホール
 - ②「クワイおはなし会」
日時 8月7日(月)
午前10時30分
会場 図書館 おはなしのへや
 - ③工作教室
「キミもつくれる」恐竜
日時 8月26日(土)
午前10時30分
会場 茜が丘複合施設みらいえ 会議室1
- ▼定員 10名(先着順)
※小学2年生以下の参加は、要保護者付き添い。
▼申込み・問合せ 図書館 (☎23,5991)



3 本は物事に対応する力を育む

進む「読書離れ」

近年は、「読書離れ」が進んでいます。これは、テレビやゲームに加えて、インターネットの普及が大きな要因と言われています。文化庁が、平成25年度に16歳以上の国民を対象に行った「国語に関する世論調査」によると、「1ヵ月に読む本の冊数」の問いで、「全く読まない」と回答した人の割合は、47・5%と半数近くを占めました。平成14年度の調査と比べ、およそ10ポイント上昇しており、「読書

離れ」が進んでいることが明らかになりました。

また、「全く読まない」と回答した人の年齢別では、14年度の調査と比較して、全ての年代でポイントが上昇。「10歳代(16歳以上)」から「40歳代」までのいずれの世代でも10ポイント前後の上昇が見られ、若年層を中心に「読書離れ」が進んでいることが分かります。

図書館で読書を

「読書は楽しいもの。本を読むことで、心に栄養を与え

ることができる」と話すのは、西脇市図書館サポート隊「TeaTous(テントウズ)」の丸山初美さん。

テントウズは、図書館を市民目線で活性化しようと取り組む市民ボランティアグループ。丸山さんは、おはなしグループ「パルランド」のメンバーとしても活動し、図書館や学校園をはじめ、市内各地で子どもたちへの読み聞かせや朗読に取り組みられています。丸山さんは、「読書はさまざまな文化を疑似体験できる貴重な機会。子どもたちは本

に触れることで、物事に対応する力を育みます。本には、生きていくための要素がたくさん詰まっているので、特に長年読み続けられている名作がおすすです」と、読書の魅力を語られます。

また、「どんな本を読めばいいか悩んだときは、図書館の職員や私たちにお尋ねください。たくさん本のなかから自分に合った本を見つけたりすれば嬉しいですね。図書館にどんな本も通い、たくさん本と出会ってほしい」と話されました。

「雑誌有料広告掲載」広告主を募集

図書館では、図書館が購入する雑誌の最新号カバーに広告掲載を希望する広告主を募集します。

この制度は、図書館が所蔵する雑誌の中から、選んでいただいた雑誌の年間購入金額に相当する額をご負担いただき、その雑誌の最新号カバーに広告主名や広告を掲載するものです。情報発信とPRの場として、ぜひご利用ください。

なお、広告の掲載は、事業を営む個人、法人および団体が対象となります。個人名は掲載できません。申し込み方法など詳しくは、図書館ホームページをご覧ください。左記へお問い合わせください。

▼問合せ 図書館 (☎23,5991)



特集 図書館へ行こう!



テントウズの丸山初美さん

絵本の読み聞かせ

図書館では、子どもが絵本と親しむ機会として、絵本の読み聞かせを行っています。また、子どもたちの創造力を高める効果があるとされる「ストーリーテリング」も行っています。

いずれもテントウズや図書館職員が、館内の「おはなしのへや」で行います(予約不要。参加無料)。詳細は17ページに掲載しています。



テントウズによる読み聞かせ